



サイエンスカフェ 環境と文明シリーズ

第1回 3回シリーズ

1月22日(土)PM7:00~9:30

「モノを作る生き物としての人間と環境問題」

第2回 2月13日(日)AM10:00~12:30

「文明と自然環境」

第3回 3月5日(土)PM7:00~9:30

「われわれはどう生きるのか」

サイエンスカフェ (Science Cafe) は、1997年から1998年にかけて、英国とフランスで同時発生的に行われたのが起源とされる。パリで数年前に始まった哲学カフェにヒントを得て、科学技術の分野で従来から行われてきた講演会・シンポジウムとは異なり、科学の専門家と一般の人たちが、喫茶店など身近な場所で寛いだ雰囲気の中、科学について気軽に語り合う場をつくらうという試みです。



第3回 われわれはどう生きるのか



講師

荒田鉄二氏

鳥取環境大学准教授
環境政策

地球温暖化や世界的な異常気象など頻発する昨今、これから生きる子どもたちに、大人としてどんな環境を手渡せるのか、今を生きる大人として出来ることは何か、根本解決につながる行動が待たれています。

人は地球上で最も知能が発達している生き物のはずですが、なぜその人間が自らの生存を根底から脅かすような事態をひきおこすのでしょうか。

講師の荒田鉄二氏は、環境政策の支援研究の傍ら、地球という自然環境に対する文明（人為）について長年にわたって研究されてきました。

今回は三回にわたって、環境の観点から人間の特性、文明とは何か、そして環境問題の今後についてお話をしていただき、これからどうサバイバルするか、具体的に生きる道を私たちの足元から回復していく、その道筋をご一緒に見出したいと思います。どうぞご参集ください。



人類は、行動の時代から「自己沈潜」に向かうべきか？



コメンテーター

内藤正明氏

滋賀県環境科学琵琶湖研究センター長 京都大学
名誉教授

第1回
参加者の
感想より

環境問題を考えるのに、人類という種の特性から考える内容に興味を覚えました。自然の中で生存するための本能が欠けていた人類が、それを補うために道具や技術を使ってきたという話があったように思いましたが、今日ではその道具や技術が度を過ぎて、逆に人類の生存を脅かすという矛盾に直面しているようにも思われます。次回以降の展開が楽しみです。

日時：2011年3月5日(土) PM7:00~9:30

会場：鈴鹿カルチャーステーション (鈴鹿市阿古曾町14-28)

申し込み・問い合わせ先：TEL&FAX 059-389-6603

Eメール：scsoffice@scs-3.org HP：http://www.scs-3.org

参加費：1000円 (ドリンク付)

主催：NPO法人 鈴鹿循環共生パーティー ・ NPO法人 循環共生社会システム研究所
一般社団法人 鈴鹿カルチャーステーション